

主将「大きな自信に」

全国選抜高校テニス大会

女子の相生学院も初出場ながら準優勝に輝いた。

第35回全国選抜高校テニス大会(日本テニス協会、全国高体連、読売新聞社主催)は25日、福岡市の博多の森テニス競技場で男女の団体戦決勝が行われ、県勢は男子の相生学院が優勝、



団体男子を制し、胴上げされる相生学院の荒井監督

相生学院男子V

となったが、最後は正確で冷静なプレーが光った加藤隆聖選手(2年)が、熱戦

◇男子▽決勝

相生学院 3(単3-0) 2(柳川)

○竹 元 7-6 6-3 河野

○平飯 川島 1-1 6-6 遠藤 藤田

○田 沼 6-4 6-2 6-4 山西 藤田

○工藤 藤井 6-3 6-6 3-6 古川

○加 藤 6-6 3-4 町田

◇女子▽決勝

富士見丘 3(単2-0) 1(相生学院)

○細 沼 6-6 6-1 0-1 観音堂

○杉 川本 6-6 6-2 1-2 村上 山上

○森 崎 1-6 1-6 6-4 藤本 本

○高 田柳 3-6 6-5 7-6 栗本

○江 見 6-6 6-2 2-2 森

◇女子個人▽4回戦

上 村 瀬

(園田学園) 8-6 (京都外大西)

◇女子個人▽準々決勝

田 上

(野田学園) 9-7 (園田学園)

に終止符を打った。

竹元佑亮主将(2年)は「この日のために練習を重ねてきた。優勝は大きな自信になる」。荒井貴美人監督(58)は「選手たちは、昨年の悔しさを忘れずに頑張ってきた」とたたえた。

女子の相生学院は、シード校の富士見丘(東京)と対戦。第2単の藤本玲穂選手(2年)が左右にボールを散らす攻撃で勝利をもぎ取ったが、そのほかは相手の安定した試合運びに押され、優勝には届かなかった。

森歩実主将(2年)は「この悔しさを忘れない。高校総体で優勝したい」と雪辱を誓っていた。

個人戦は25日、福岡県志免町の九州国際テニスクラブで男女の準々決勝まで行われた。26日は準決勝、決勝が行われる。